

## 地域支援センター・さくら 支援プログラム

<b>営業時間</b>	10:00~18:00	<b>送迎実施の有無</b>	有
<b>支援方針</b>	利用者個々のできるところに目を向け、褒めて伸ばし、自信につなげることで主体性を育むとともに、地域においてより楽しく充実した暮らしができるようになることを目指します。		

内 容									
本 人 支 援	生活・療育	具体的な内容	ねらい	健康・生活	運動・感覚	認知・行動	言語・コミュニケーション	人間関係・社会性	
	日常生活支援	来所時の健康チェック、排泄、食事、着脱等の介助と自立度を高める支援、またクッキングを通した食育など	・持ち物意識をつける ・生活・活動の流れを知り、見通しを持って過ごす ・食べることに興味を持つ (調理活動を通して包む・剥くなどの操作性も学ぶ) など	○			○		
	運動療育	ストレッチ、体操、散歩、ボール遊び、サーキット、水遊び、山登りなど	・身体の使い方を知り身につける ・拘縮を予防し、関節等の可動域を広げる ・ボディイメージをつける ・体力をつける。 など	○	○			○	○
	心理教育	心理劇など	・自発性、コミュニケーション力を高める ・社会性を身につける など					○	○
	音楽療育	リトミック、楽器遊び、カラオケなど	・リズム感覚を養う ・音声・言語訓練 ・自己表現・活動 など					○	
	レクリエーション	椅子取りゲーム、クイズ大会、人間すごろく、ビンゴゲームなど	・ルール決めなどの話し合いを通して協調性を養う ・勝ち負けの共有 ・公平性を知る など				○	○	○
	農・園芸作業	野菜の種まき、花の苗植え、野菜収穫（夏野菜や芋など）、田植え・稲刈り、など	・作業・活動を通して五感を養う ・食、自然への興味・関心をもつ など				○	○	○
	軽作業	公用車清掃、屋外・屋内清掃、草取りなど	・清潔にする、整理整頓する意識、習慣を身につける など				○	○	○
	制作活動	ちぎり絵、絵画、タイダイ染め、紙すきなど	・手先の巧緻性を高める ・順序・工程を学ぶ ・完成を目指すなど目的を持って作り上げる ・充実感、達成感を育む など				○	○	
	SST	買い物学習、公共交通機関の利用体験、マナー講座など	・地域・社会との繋がりを認識する ・外部の人とのやり取りを通して社会性、ルールを身につける ・お金やチケット等を知り、正しい方を学ぶ など					○	○
学習訓練	プリント課題、紐通し、型はめ、パズル、ボールペンの組み立てなど	・集中力を養う ・手先の巧緻性を高める など				○	○	○	
季節行事	花見、夏祭り、ハロウィン、クリスマス、初詣、餅つき、節分など	・季節感を身につける ・行事を通して楽しさ、喜びを感じる など	○	○	○			○	
<b>家族支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・面談</li> <li style="width: 50%;">・ケース会議への参加</li> <li style="width: 50%;">・電話、LINE等の活用など</li> <li style="width: 50%;">・懇親会（交流会）の実施</li> <li style="width: 50%;">・レスパイト、就労支援</li> <li style="width: 50%;">・学習会の開催 など</li> </ul>		<b>移行支援</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内事業所への見学同行</li> <li>・移行対象の法人外事業所への情報提供</li> <li>・進路に関する資料の配布・説明 など</li> </ul>					
<b>地域支援 地域連携</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会への参加、提言等</li> <li>・福津市連携会議への参加、提言等</li> <li>・地域行事への参加・交流等 など</li> </ul>		<b>職員の 質の向上</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修への積極的な参加</li> <li>・職員研修の実施</li> <li>・定期的なケース検討会の実施 など</li> </ul>					

主な行事 など	4月：花見 5月：端午の節句 6月：田植え、夏野菜収穫 7月：七夕 8月：夏祭り
	9月：月見 10月：芋ほり、ハロウィン、稲刈り 11月：みかん狩り
	12月：クリスマス会、餅つき 1月：初詣、福笑い 2月：節分、バレンタイン 3月：ひな祭り、お別れ会 他

## ※本人支援の5領域について（放課後等デイサービスガイドラインを要約）

健康 ・ 生活	生活習慣・生活リズムを整え、健康の維持・改善を図るとともに、日常生活動作の獲得を目指します。
運動 ・ 感覚	さまざまな身体感覚を刺激し、姿勢の保持、運動機能・バランス感覚の発達や力加減を身につけられるように支援します。またそれぞれの感覚の過敏さや鈍麻といった特性を踏まえて、環境調整を行います。
認知 ・ 行動	それぞれの認知の特性を把握し、こだわりや偏食、外界との認知のずれなどから生じる行動問題への支援を行います。また物の機能、大小・数・時間などの概念の獲得など認知発達を促し、行動に活かせるように支援していきます。
言語 ・ コミュニケーション	他者への関心や場面への意識を高めることで、使用可能な手段（言語、ジェスチャーなど）を用いてスムーズにやりとりができるように支援していきます。また言語の理解・表出や読み書きへの支援も併せて行います。
人間関係 ・ 社会性	支援者が子どもと良好な関係を築くことで、情緒の安定や気持ちのコントロール力の向上につなげていきます。支援者と共に活動し、遊びの内容を発達させることで、集団参加や仲間づくりができるように促していきます。またその過程を通して自己理解・他者理解を深められるように支援していきます。